

令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立掛川特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立掛川特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	278人

1. 使用状況

寄贈物品名	鉄棒
使用学年及び人数	知的小学部1～6年生 115人
使用頻度	体育 昼休み・休み時間
使用状況	<p>体育では、ぶら下がり、前回り、逆上がり等の練習に使用している。</p> <p>昼休みでは児童がぶら下がったり、上に乗って自分の身体を支持したりしている。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>本校は運動場に高鉄棒があり、小学部の児童にとっては高く大きいもので使用しづらい。また、体育館に鉄棒を設置できる器具もあるが、体育館の使用状況が他学年と重なるときは使用しづらい。簡易的・移動式の鉄棒も2台あるが、児童数に対しては少ない。</p> <p>鉄棒を設置していただき、上記の鉄棒以外にも利用できる物が増え、授業での鉄棒使用の幅が増えた。また、授業で行ったことを昼休みに教員と児童で反復する姿も見られている。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>体育での積極的な使用。</p> <p>鉄棒使用時間が学年間で重なりがないように計画を立てる。</p>
その他 希望や所感など	

2. 活用の様子



体育
鉄棒にぶら下がることを教員と練習しています



体育
上記の技の完成です。
しっかりと足を鉄棒に掛けてぶら下がることができています。